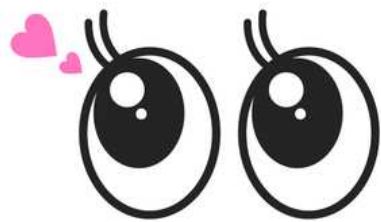




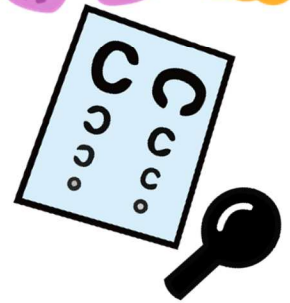
ほけんだより

宜野湾保育所
看護師作成
令和8年 10月発行

夏の厳しい暑さもピークを過ぎ、涼しい風を感じる時間も増えてきました。子どもたちは暑さに負けず夏を乗り越えました！おゆうぎ会も無事に終わり、忙しさが落ち着いてきてお外で遊びやすい季節となってきました。10月10日は目の愛護デーということで今回は目のお話をしたいと思います。



10月10日は
目の愛護デー



子どもの視力は1歳半ごろに感受性期(目から入った情報を脳に伝達する神経回路が作られる時期)のピークを迎えるといわれています。その後、徐々に減衰していき8歳ころまでに消失するといわれています。

こどもの弱視について

弱視とは子どものころの感受性期における発達に関係する視力障害です。

感受性期にしっかりと目から刺激を受けていないと、色の識別や両目で物を見て把握する能力の発達が遅れたり、止まってしまいます。感受性期を過ぎてから治療を始めても、視力の向上が難しいので、弱視は早いうちから治療を始めることが重要です！

弱視の原因

- ・生後すぐから3歳までの間に強い遠視などの屈折異常が原因
- ・右目と左目の視力の差が大きい
- ・斜視(片方の目の位置がずれている)
- ・眼瞼下垂(まぶたが下がっている)
- ・黒目の中心部分が濁っている

子どもは自分で見えていないことに気が付かないことが多いため、**3歳児健診の視力検査で早期発見してあげることが重要です！**

9月に園で発生した

感染症

- 流行性結膜炎 2名
- インフルエンザ 3名
- 川崎病(4歳以下にみられる非感染性の疾患)

インフルエンザ注意報！

沖縄本島でもインフルエンザ大流行中です！

感染症予防の基本！

「手洗い」「うがい」「咳エチケット」「換気」
そして、「ワクチン接種」
忘れずに行ってください。